

石山・東石山地域 第1回ワークショップの概要

1. 現状の課題

(1) 施設全般

① 立地・アクセス

- 石山・東石山地域の公共施設は小学校区ごとに拠点となる施設があるので、配置バランスが良いと思う。
- 石山・東石山地域の公共施設は地域の端にあるものが多く、住んでいる地域から遠くにある施設は使いにくい。利用率を上げるには利便性の高さが重要になるが、石山地区センターのような核となる施設が中心にないので、そういう多機能な施設はどの学校区からも行きやすい場所にあってほしい。
- 高齢化に伴い、歩いていける地域の施設はこれまでより一層求められ、利用されると思う。行きたい施設が近隣にあると、認知症予防にもなるだろう。
- 電車やバスを使って公共施設に行く人はほとんどいないのに、どの公共施設も利用人数に対して駐車場が足りていないと思う。
- 指定管理施設は駐車場を広くするためには、土地の賃料を利用料金収入から出さなければいけないので、駐車場を広くするのが難しい。
- 最も公共施設を利用している高齢者が車を運転できなくなってくるので、駐車場を増やすのではなく、巡回バスなどの自家用車以外の交通手段を整備した方が良い。渋滞緩和のためにも、自家用車だけでなく、自転車、公共交通を使い分ける様に住民の意識を変える必要があると思う。
- アクセスを良くするために公共施設までの交通手段を確保するのではなく、施設の方を近くに持ってくるという発想があっても良い。地域内でも増えている空き家を活用し、小規模な施設を点在させてはどうか。

② 必要な機能

- 高齢者が子ども達に生活の知恵や技を伝えるなど、多世代交流できる場があると良い。住民向けの多世代交流イベントが行われてはいるが、子育て世代が参加できていないので工夫が必要だ。

② 必要な機能（続き）

- 猛暑でも冷房を使わずに過ごす高齢者が多いので、冷房が完備された高齢者の居場所が必要だ。そこに集まることが一人暮らしの高齢者の生きがいにも繋がると思う。
- 子どもが安心して外遊びできる場が地域内にほとんどない。若い世代が安心して子育てできることは大切なので、環境を整えられると良い。
- 放課後や休日の子どもの居場所が少ない。不登校の子ども達の居場所も足りないので、行きたい時にいつでも行ける場所が公共施設内にできると良い。
- 会議室以外に、軽い運動ができる小体育館のような場があると若い人も使うのではないかと。高齢者にとっても健康面でのメリットがあると思う。

③ 活動・利用状況

- 学校のボランティアや公共施設を使った地域イベントの運営などの高齢者の活躍が素晴らしいと思う。
- どの公共施設も予約が取りにくい。年間で会場を押さえている団体もあるので、新規の人は使いたくても使えない。特定の団体しか使えない場所にならないよう、予約方法を工夫してほしい。
- 利用方法、講座・イベントの内容がわからないので参加に繋がらない。広報紙や回覧板のほか、ホームページやSNSで最新情報を伝えるなど、情報発信に力を入れることで若い世代の利用が促せると思う。
- データを見ると同じホールでも施設によって利用率が異なる。その差が何によるものなのかを明らかにして対策できれば、全体的に利用率を上げることができるのではないかと。

④ 再編に向けた課題・提案

- 石山地区公民館の機能を石山南まちづくりセンターに移転する場合、石山南まちづくりセンターだけでは面積が足りないと思う。両施設とも利用率が高いので、近隣の空地を使って増築することなども検討し、施設が利用できない個人や団体が出ないようにしてほしい。

④ 再編に向けた課題・提案（続き）

- 現実的ではないかもしれないが、全部の機能を一旦止めてみたら良い。無くなってみると、何が本当に必要な機能なのかが見えてくると思う。
- 公的な機能に限らず、カフェ、コンビニ、フィットネスなどの民間施設も入れた新しいスタイルの公共施設にしてはどうか。人が集まる場にして、儲けることも考える必要があると思う。
- 石山地区センターが老朽化しているのなら、地域の中心にあるシルバーピア石山に機能を移転してはどうか。ただ、現状の建物では機能が入りきらず、駐車場も足りないだろう。現状では近隣に適した空地がないので、探す必要がある。

(2) 石山地区センター

① 施設全体

- 公民館、出張所、図書館、保健福祉センターがコンパクトにまとまっていて、ワンストップで用事が済ませられるのが便利だ。
- 複数の機能が複合しているので、集会や活動の場としての機能が主な他の再編対象施設と同じレベルで考えられないと思う。中央区の住民にとっても大切な施設であることも考慮する必要がある。
- 建物が老朽化しており、全体的に暗い雰囲気がある。明るく、綺麗にしたらもっと利用が増えるかもしれない。
- 東区と中央区の間にあるので、双方が利用できて立地が良い。
- 防災面に弱く、水が止まるとトイレが使えなくなるので、ソーラー発電などでの電気供給、水が止まっても使用できるトイレの整備などを考えてはどうか。空調の微調整もできないので、各部屋で室温を変えられる様になると良い。
- 石山・東石山地域の中心にないので、どの地域からも使いやすいとは言えない。東中野山からだと選挙や行政の手続きが必要な時くらいしか利用しない。多機能で核となる施設は中心にあった方が利用率が上がるのではないか。

① 施設全体（続き）

- 公共目的以外の施設がないので使われないのではないか。コンビニなどの民間の施設が入ったら、赤字解消にもなって良いと思う。
- 建物周辺の草木など管理が行き届いていない。
- 駐車場が少ないのが問題だ。
- 人口が減っていく中でも維持し、更に発展させる視点も持つとしたら、コンビニなどの民間施設を入れることも考えたら良いと思う。コンビニは防災面でも役立つだろう。

② 公民館

- 比較的長い歴史があり、高齢者を中心に多くの人に利用されている。地域に密着した「身近にあって当たり前」の施設になっていると共に、中央区の住民にも利用されている。
- 普段利用することはなく、町内会の会合ぐらいでしか来ない。
- 大人数で集まれる大きなサイズの部屋があるので、地域の会合の際などで使い勝手が良い。
- 施設に入るのに靴を脱がないといけないのは大変なので、下足のまま入れる洋室は使いやすい。ただ、便利な一方で衛生面では問題がある。
- バリアフリーではないので、障がい者や高齢者が利用しにくい。
- サークル活動が盛んに行われており、楽しんで参加している人が多い。地域とのつながりや参加者同士の関係性もできる。
- ネットで空室状況がわかり、受付の時間帯を気にせずに予約もできるので便利だ。一方で、ネットでの予約が難しい高齢者もいるので、人が対応してくれる方が安心だろう。
- 受付の対応は親切が良いが、部屋が空いていても利用開始時間まで入室できないなどルールに厳しい。石山南まちづくりセンターの方は融通が利くので、同じ公共施設なのに職員の対応が違うのが問題だ。

② 公民館（続き）

- 中野山小学校からは小学校区外になるため、教育活動における学校との連携が取れていない。各学校にある特別支援学級が見学に訪れており、学校との連携には力を入れているようだ。
- Wi-Fi が繋がる学習室があることは良いが、席が少ないので利用できなかったり、周囲の会話や他の部屋からの音のために集中しにくい環境だ。公民館に学習室があると、学生と高齢者とのふれあいが生まれるなどの良い面もあるので、無料もしくは低額で勉強できる場所を充実できると良い。
- 自分自身もそうだったが、子育てで大変な時期、仕事をしている時期には、こういう趣味の世界の施設には来ないのではないか。

③ 図書館

- 中央図書館まで行かなくても、ネットで予約して受け取りや返却ができるのが良い。近隣に本屋がないので、地域内で本を借りられる施設は貴重だ。
- インターネットで予約した本の貸出、返却の場としてだけでなく、多くの本が並ぶ中で本を眺めて選ぶ、くつろいで本を読んだり、勉強や作業をするという楽しみに欠ける。蔵書数が少なく、スペースも狭いので、もっと充実してほしい。
- 図書館は近くにあれば便利だが、今の時代はインターネットで予約して、取りに行けば良いので、シルバーピアの図書室と機能を集約するなどし、さらにコンパクトにすることも考えられる。
- 既存の図書館、図書室と集約することで、蔵書や読書、学習スペースを充実させてはどうか。
- 現状では誰でも気軽に入りやすい雰囲気とは言えないので、中高校生が快適に勉強できるような明るく洒落た雰囲気の空間になると良い。
- 自分は仕事で忙しく、小学生の子どもは学校の図書館を使うので利用する機会がない。

④ 出張所

- 東区役所まで行かなくても、各種の届出や不在者投票ができるので便利だ。書類はコンビニでも発行できるが、近くにコンビニがなく行政の出張所という安心感もあるので維持してほしい。
- 東中野山小学校区から距離があり、朝は踏切もなかなかあかなくて行きづらいので、各種手続きや不在者投票などは東区役所に行く人も多い。もう少し近くにあると良いと思う。

⑤ 保健福祉センター

- 近隣で乳児検診を受けられたり、母親学級などで知り合いができるので、地域の小さな子どものいる母親にとって利便性が高く、安心感のある施設になっている。高齢者は利用しないが、若い世代が住んでくれるにはこういう施設があることが大切だと思うので、機能は無くさない方が良い。
- 駐車場が少ないのが問題だ。乳児検診の際には、仕事の都合などで車を利用せざるを得ない人もいるので駐車ができないのは困る。
- 検診などは東石山コミュニティハウスやシルバーピア石山まで出向いてくれるので、離れた地域からはほとんど利用していないと思う。
- 地域包括支援センター石山と近い場所にあった方が連携が取れて良いと思う。

(3) シルバーピア石山

① 施設全体

- 石山・東石山地域は大人数で集まれるところが少ないが、50人くらいの大人数で集まれる部屋があるので便利だ。
- サークル活動が活発に行われているので、仲間づくりができる。
- 中野山地区コミュニティ協議会の事務所が入り、拠点の場ができたことで活動がしやすくなった。

① 施設全体（続き）

- 名称に「シルバー」と付いているので高齢者のための施設というイメージがあり、若い世代の利用につながっていない。名称を変えた方が利用者の幅が広がると思う。
- 「シルバー」と名称に付いてはいるが子どもの利用者も多い。中野山小学校と近いので、教育活動における学校との連携もある。
- 今は学習スペースがないが、Wi-Fiを整備し、学生などが無料で使える部屋を作れば、もっと多くの人利用してくれるのではないかな。
- 施設内容や行われている活動のPRが足りないのではないかな。若い世代を中心にいったことがない人が多いと思うので、活動プログラムやイベント、利用方法などを積極的に情報発信する必要がある。まずは施設のことを知ってもらい、利用者を増やすと良い。
- 満車になると近くのスーパーに停める人がいると聞いた。そういう状況になるくらい駐車場が少ないのは問題だ。

② 図書館

- 自宅から近いところに図書室があることは良い。
- 蔵書数が少なく、利用している人をあまり見たことがない。

③ 浴室

- ドライヤーの持ち込みが禁止されているが、他の温泉施設では可能なので持ち込みできるようにしてほしい。

(4) 石山南まちづくりセンター

① 施設全体

- 平屋で規模が大きすぎず、こじんまりとしているので使いやすい。高齢者に優しい施設だと思う。

① 施設全体（続き）

- 大人数で集まれる大きなサイズの部屋があるので、地域の会合の際などに使い勝手が良い。
- 建物が老朽化しているのは課題だ。
- 部屋が空いていれば予約時間前でも入れてくれる、1年間まとめて予約ができるなど、柔軟に対応してくれるので使い勝手が良い。
- 越後石山駅が近くにあり、出張所にも近いので便利な立地にあると思う。
- 近隣に活動ができる場所があるのは便利で良い。特に高齢者にとっては歩いていける範囲にある施設は重要だ。
- 予約が取りにくいほど利用率が高く、平日は活気づいている。面積が狭いので数人の会合でしか使えない部屋は利用率が低いと思うが、全体的には部屋数が足りていないと感じている。
- 年配の方がよく利用している印象がある。児童、学生、就労者などは利用機会が少ないのではないか。
- 駐車場が狭いのが課題ではないか。
- 小中学生が勉強している姿を見る。入りやすいので、気軽に寄ることができるのではないか。
- 存在自体知らなかったり、知っていても自由に出入りしにくい雰囲気があるので使ったことがない。
- 園芸公園では公園愛護会メンバーが毎月草刈りや植樹松の管理をしている。活動を続けていきたい。

(5) 東石山コミュニティハウス

① 施設全体

- 平屋でバリアフリーなので利用しやすい。
- 東中野山小学校区でも一番端にあり、立地が悪い。
- 駐車場が狭いのが問題だと思う。

① 施設全体（続き）

- 住んでいる地域から遠く、「東石山」と名称がついているので、他地域の住民には利用するのに敷居が高い。外から中が見えないので入りづらいところもある。

2. 進め方

(1) 計画検討の進め方

- 地域別実行計画の考え方や公共施設を再配置することが必要だということ
は理解できた。
- 公共施設の再編が必要なのは理解できるが、廃止ありきではなく、維持する
ためにはどうするかを考えた上で計画を検討してほしい。まずは利用率を上
げる取り組みをしてはどうか。
- 石山・東石山地域は交通の利便性が高く、施設も整っているのでポテンシヤ
ルが高い地域だ。人口減少や財政難を理由に施設を廃止する話だけでなく、
この地域や施設をどう魅力的にしていくかを考え、地域づくりに貢献する再
編計画になると良い。
- 石山・東石山地域、東区の単位で考えるのではなく、新潟市全体で再編計画
を考えてほしい。石山地区公民館の様に地域や区の範囲で見ると中心に立地
してなくても、他区の住民も使っている施設がある。隣接する区も含めて施
設配置を検討する必要があると思うので、影響がある中央区の住民にも意見
を聞いてほしい。
- 小学校区ごとに公共施設の再編を考えると、自分の住んでいる地区のことを
優先して意見が食い違ってしまうので、石山・東石山地域全体として検討し
ていく必要があると思う。
- 現状では小学校単位でコミュニティを考えているが、少子化が進めばその範
囲が変化し、時代と共に施設の利用者層も変わってくるかもしれない。人口
の推移や今後の社会状況などを踏まえて再編を検討する必要があるのでは
ないか。
- 学校の空き教室や廃止した学校の校舎を公共施設として活用する例が増え
ているので、学校の統廃合と公共施設の再配置はセットで考えると良いと思
う。

(2) ワークショップ (WS) の進め方

- 公共施設の再配置の話だけでなく、地域の魅力づくりやまちづくり、利用しなくなる施設にするための方策など、地域の理想の将来像を見据えた前向きな話し合いができる WS になると良い。
- 市町村合併をすれば公共施設は減らすものだろう。減らすことを前提に今回の WS の話し合いを進めて良いと思う。
- 過去いきなり再配置案を提示されたので、WS は形だけで、結論はもうあるのではないかという不信感が拭えない。
- この WS が住民目線で忌憚のない意見交換ができる場になると良い。現実的なことだけでなく夢や理想を語ったり、自由な発言ができる雰囲気づくりを期待している。
- 公共施設の使い方は世代によって異なるのではないか。参加者の年齢や性別に偏りがあると意見も偏ってしまうので、各世代の意見を広く聞けると良い。将来公共施設を使うのは今の子ども達や 20~40 代なので、もっと若い世代や女性の参加者を増やしてほしい。
- WS は高校生以上対象だが、公共施設を使っていない世代に聞いても意見は出ないと思う。
- 高齢者は昼間に活動するので夜間は比較的利用率が低い。1 日平均ではなく昼間の利用率を基にして再編を検討してほしい。
- 自分が使っていない施設については全く分からないので、漠然とした意見しか出せない。
- 若い世代にとってはワークショップへの参加はハードルが高いと思う。SNS やメールなど若い世代が見る媒体を使えば集まりやすいかもしれない。アンケートなどのワークショップ以外の方法で意見を聞くことも考えてはどうか。
- 公共施設の現況の課題というテーマは漠然としている。老朽化した施設を建替えるというのであれば、立地や面積などもっと具体的な話ができると思う。

(2) ワークショップ (WS) の進め方 (続き)

- 自分達とは異なる意見が出ているかもしれないので、グループが再編成される前に他のグループで第 1 回、第 2 回に出された意見を知りたい。最終回は再度小学校区のグループにして、再配置案の確認や意見交換ができるといい。

(3) その他のご意見

- 新潟市財産経営推進計画についてもっと丁寧に教えてほしい。
- 将来の公共施設のあり方を考えるのであれば、地域の人口動向や小学校の児童の推計、子どもや若者の施設利用の現況などがわかる資料があると良い。
- 利用率は何%からが「高い」とみなされるのか。利用率が高い、低いという判断基準を教えてほしい。
- 利用率だけではなく、部屋の用途や目的に合った使われ方をしているのかにも着目する必要があると思うので、各部屋の利用用途も知りたい。
- これからの公共施設は民間施設との複合化も考える必要があると思うので、カフェや物販、サービス店舗などを複合している事例を教えてほしい。
- 新潟市として、この地域の施設をどの様に多機能化、複合化するつもりなのか。既に案があるのなら聞きたい。新しい施設を建てる可能性があるなら、予算などがわかると意見が言いやすい。